

公開用シラバス

高校 1 年 言語文化

教科	科目名等	学年	履修形態	実授業数	教科書	副教材など
国語	言語文化	1 年	必修	90	『言語文化』 数研出版	

* 全クラス共通で実施

1 学習目標

年間 学習 目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、社会生活に必要な国語を正しく理解し適切に使える能力を育む。他者との関係の中で相互に理解し伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。言葉がもつ価値を認識して、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化を尊重する態度を養う。
----------------	---

2 授業進度

	1 学期	2 学期	3 学期
学習 内容	① 説話 ② 随筆 ③ 歌物語 ④ 故事 ⑤ 近代小説	① 物語 ② 随筆 ③ 日記文学 ④ 史伝 ⑤ 近代小説 ⑥ 詩歌	① 和歌 ② 軍記物語 ③ 俳諧紀行 ④ 漢詩 ⑤ 文章 ⑥ 近代小説
備考			

* なお、状況に応じて、若干の変更を行うことがある。

3 評価の対象と基準

評価 対象・ 方法	知識・ 技能	小单元ごとの「小テスト」、 宿題テスト等 定期考査(配点の約 40%)	評価 基準	知識・技 能	学期 A + A B C C - 学年 A B C 5 段階 3 段階	総 合 評 価 ・ 評 定 の 算 出	・観点別評価を基 に、各学期 10 段 階で総合評価 ・各学期評価に基 づいて年度末 5 段階評定 ・観点別の配分比 率は次の通り 知識等：思考等： 主体的態度 = 4 : 4 : 2
	思考・ 判断・ 表現	定期考査(配点の約 60%) パフォーマンス評価(課題 レポート、話し合いの記 録、発表会)		思考・判 断・表現	学期 A + A B C C - 学年 A B C 5 段階 3 段階		
	主体的 学習態 度	パフォーマンス評価(課題 レポート、発表会の評価、 ノート：内容&中長期的変 容)及び「出欠席」		主体的 学習態 度	学期 A B C 学年 A B C 3 段階 3 段階		

* 紙幅の関係上、観点別目標、学習範囲の個々の事例については省略・略記している。